

4 回目のバングラデシュ訪問

4 回目にして、初の真夏の参加。
暑さが不安でしたが、体調を崩すことなく元気に過ごせました！

1 年半ぶりのバングラデシュ。懐かしい。嬉しい。ワクワク。少しの不安。。

今回は特に、どうしても参加したかったのです。
それは、1 月にバングラデシュに行かれてた大西さんからお電話をいただき、
私がサポートさせてもらっていたコミッラの奨学生で 10 年生のシャハダ君が、
国家試験 SSC に合格出来ず、学校を辞めて働くとのこと。。

最初に聞いた時、わたしは、

“勉強をして学校を卒業することで、少しでも良い仕事に就くことができ、貧困から抜け出せる、それならば、今もう一年がんばって勉強する道を選んでほしい”と思いました。
そのためにはその間の 1 年もサポートは続けたいと、
現地の刈クさんにも直接メールさせてもらい、私の気持ちを伝えてもらうようお願いしました。

でも、シャハダ君の気持ちは固く、その後も何度かコンタクトをとってくれたようですが、その話し合いの場にさえ来なくなり。。

諦めざるをえませんでした。

彼の状況も理解は出来ます。ここ 2 年、とても痩せていたのが気になりました。

食べれているのか。。

親は働くことを望み、それでも勉強を続けるため働きながら学校へ行っていたと聞きました。

勉強したくても、まずは目の前の生活。とならざるをえない。。

将来は、警察官になりたいと言っていたのに。。そのチャンスを一度は掴んだのに。。

このまま会うことなくサポート終了は寂しいと思いました。
せっかく出会った彼のこと、今後はサポーターとしてではなくても、応援していけたらと思いました。そして、それは本人にも直接伝えたいと思いました。

現地到着後、連絡をとってもらいました。

以前に、話し合いの場に来ないと聞いていたので、会いたいと伝えても来てくれるかは、当日までわかりませんでした。

「今日、5 時に来るよ」と聞いたときは、本当に嬉しかったです！！

私個人の要望であるにも関わらず、迅速に対応して頂いて、とても感謝です。

そして時間どおり、来てくれました。

(この数日、熱があって仕事を休んでいたようです。)
身長がさらに伸び、顔も体つきも引き締まっていました。
でも表情は固く。。。開口一番、進級できなかったことを謝ってくれました。
何度も謝ってくれました。
進級を一番望んでいたのは彼自身だったでしょう。。。)

言葉の壁があるので、どこまで伝えられるか、どこまで打ち解けられるか。。。と思いましたが、彼の英語力が格段に上達していて、驚きました。
それぞれの家族の事、仕事の事などを話しているうちに、彼の表情も緩み笑顔も見れました。

そして、私がバングラデシュに来た時には、また会いに来てくれると言ってくれました。

手紙も書いてきてくれていました。

奨学生はサポーターにいつも手紙を書いてきてくれます。

でも、もうサポーターでも奨学生でも無いので、手紙を書いてきてくれるとは思ってもみませんでした。

このような場を設けて頂き、また、サポーターとして終了しても、このような関係を築けたのは、小規模なグループならではの良さであり、そして何より、Onedrop の、子供たちとのこれまでの向き合い方の結果だと思います。

本当にありがとうございました。

今回のシャハダくんの決断は、残念でもありますが、その環境の中で、楽しみながら後悔の無い人生を過ごしてくれたらと願って、今後も、見守っていけたらと思っています。

一方、ダッカでは、12年生？の奨学生が2度目の国家試験 HSC に不合格、
「今後、どうしたいか」との問いに、「勉強を続けて来年もう一度受験したい。」と。
サポートは終了、自分で働いてお金を工面して勉強を続け受験するとの事。

都市部のダッカは、豊かな生活を目にすることも多いからでしょうか、そのような生活を手に入れたいと思う気持ちや、それに向けてがんばる目標が持てるのでしょうか。。。)

農村部のシャハダくんの家では、TV もありません。

学校の勉強だけではなく、もっといろんな本や映像を見る機会があったら、もっと他の世界を見る機会があったら、目的や希望も明確になって、モチベーション向上にもつながるのかな。。。と思いました。

「働くこと」「勉強すること」

家庭の事情ではなく、自分で本当に望む選択ができるようになってくれたらと願います。

M. One drop 小学校

朝、学校へ行くと、子供たちが大勢、校庭で遊んでいました。
遊具はまだ一つもありませんが、ボール遊び、縄跳び・・・元気な子供たちの声が響いていました。

(昔の?)日本の小学校と変わらない姿です。

鉄棒、ブランコやタイヤの跳び箱。。いつかできたらいいなあ

2階建てになった校舎。

風が通って、思っていたより涼しい。

階段を上って教室をのぞくと、懐かしい顔が見えました!(^^)!

M. Onedrop 小学校 1期生の3年生。

みんな、集中して勉強していました。

階段を上っているとき、とても静かで、居ないのかな??と思ったほどでした。

“成長したなあ～～。”

今回の第一印象です!

落ち着いて授業を受けています。

積極的に手をあげ答える姿は相変わらず!

話しかけてくる笑顔も相変わらず!

かわいい～～～

帰宅時、何度も振り返って手を振ってくれます。

家に帰ってからは、どんなふうにご過ごすのだろう。

子守りや家の手伝い。勉強したりする時間はあるのかなあ・・・

M. Onedrop 小学校の子供達との時間はあっという間でした。

成長する子供達の姿から、いつも元気をもらいます。

子供達の成長はこれからも、私の楽しみです。

短い期間でしたが、そんな中でも、公立小学校訪問、日本語教室訪問、ダッカの奨学生との面会、、今回もたくさんの経験をさせてもらいました。

そしていつものようにタリクさん宅でのホームステイ(お隣さん宅にもご招待いただきました(^.^))、ヤスミンさん、Anikaさん&Tishaさん宅でもご馳走になりました。

皆さん、いつも笑顔で迎え入れてくれます。

たくさんの人にお世話になりました。

そして、ご一緒させて頂いたみなさん、本当にありがとうございました。